

1 交流・連携(ふれあい)

(1) 広域的な連携・交流を促すふくしまの道づくり

- ①高規格幹線道路、地域高規格道路の整備
- ②七つの生活圏や隣接各県を連携する一般国道、主要地方道等幹線道路網の整備
- ③高速交通体系とのアクセス道路の整備
- ④物流拠点・重要港湾などをネットワークする道路の整備

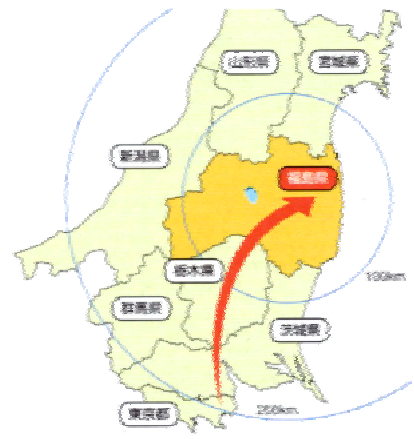
- 地域の発展のためには、他地域とのより早く確実な情報の伝達、人や物の交流などにより、広域的な連携を強化することが不可欠です。
- また、本県は、県内各地に都市が分散した特色ある多極分散型の県土構造となっており、その中で都市と農山村が機能分担と連携によって七つの特色ある生活圏をかたちづくっているため、これら七つの生活圏相互の連携を強化し、県全体としての魅力を高めていくことが重要となっています。



- 本県の高速交通体系は、近年の整備に伴い、生活圏相互の時間距離の短縮が図られ、交流も活発化しておりますが、本県は面積が広大なために、まだまだ高速道路等の空白地帯が存在します。
- さらに、本県は特性として、宮城、山形、新潟、群馬、栃木、茨城の六県に境を隣接しており、これら隣接各県との連携により、相互の魅力を高めていくことが可能です。



広域的な連携



東京からの距離

※_____は、第1回懇談会で各委員から発言のあった意見を反映したものです。

県内高速自動車国道及び地域高規格道路の整備状況



県内高速自動車国道の整備状況

	県内 計画延長	内 訳			供用中 延長	供用率 [%]
		予定路線	基本計画	整備計画		
東北縦貫 自動車道	116	0	0	0	116	100
東北横断 自動車道	152	0	0	0	152	100
常 磐 自動車道	128	0	0	75	51	40
東北中央 自動車道	58	0	41 (10)	17	0	0
計	454	0	41	92	319	71

平成14年3月31日現在(単位:km)
 ※ ()内は高速自動車国道に並行する自動車専用道路:Aで内数

県内地域高規格道路の整備状況

	計画路線 (路線延長)	区間指定			供用中 延長	供用率 [%]
		調査区間 (調査延長)	整備区間	延長		
福島空港・ あぶくま道路	30	14	20	34	10	29
郡山西 環状道路	10	0	10	14	0	0
会津縦貫 北 道 路	20	0	12	12	0	0
会津縦貫 南 道 路	50	9	0	9	0	0
栃木西部・ 会津南道路	〔候補路線〕					
いわき 東 道 路	〔候補路線〕					
計	110	23	42	69	10	-

平成14年3月31日現在(単位:km)
 ※計画路線の総延長は、10km単位で指定される。

平成14年3月31日現在 : km

	全体計画	基本計画 決定済み	整備計画 決定済み	事業中	供用中
全国	11,520	(92%) 10,607	(81%) 9,342	(18%) 2,105	(60%) 6,959
県内	454	(100%) 454	(91%) 413	(90%) 88	(71%) 319

平成14年3月31日現在 : km

	計画路線 延長	区間指定 延長	調査区間	整備区間	供用中
全国	6,950	(78%) 5,455	(17%) 1,163	(41%) 2,873	(20%) 1,419
県内	110	(63%) 69	(21%) 23	(38%) 42	(9%) 10

資料 福島県の高速度道路

- 高速道路等の空白地帯である相双地方、東白川地方、南会津地方において、高規格幹線道路や地域高規格道路の整備を図り、広域的な連携・交流を促進するとともに、高速交通体系とアクセスする道路の整備を推進します。



図 インターチェンジまでの30分圏域(H13年度末)

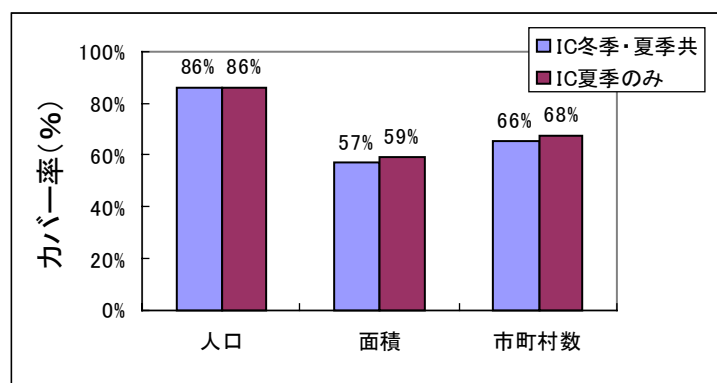


図 I. Cまでの30分カバー率(H13年度末)

※_____は、第1回懇談会で各委員から発言のあった意見を反映したもの。

- 物流コストの削減や国際貨物輸送の円滑化の観点から、車両の積載量の割り増しや大型化が進められています。
- このため、福島空港及び重要港湾小名浜港、相馬港を抱える本県では、物流の効率化を図るため、これら物流拠点、重要港湾などとネットワークする高規格幹線道路、地域高規格道路並びに物流拠点へのアクセス道路の整備や耐荷力が不足する橋梁について、重点的に補強対策を行い、25t車両が自由に通行可能な指定道路の整備や背高海上コンテナ用セミトレーラーなどの新規格車が自由に通行可能な指定経路の整備を図り、物流拠点のネットワーク強化を推進します。

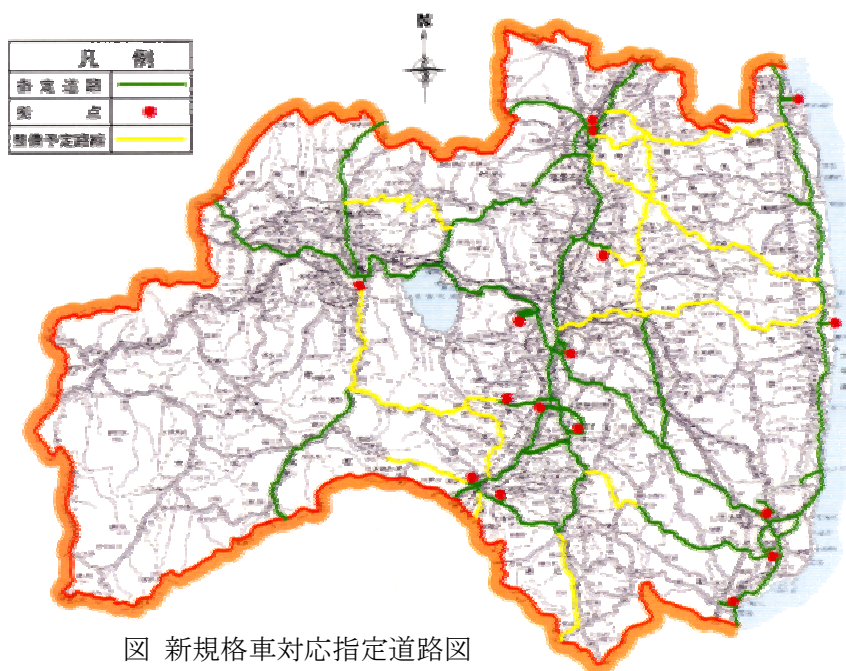


図 新規格車対応指定道路図

平成14年4月現在の指定道路延長 L=347.4km
(H22 目標値 L=700km)



(施工前)



(施工後)

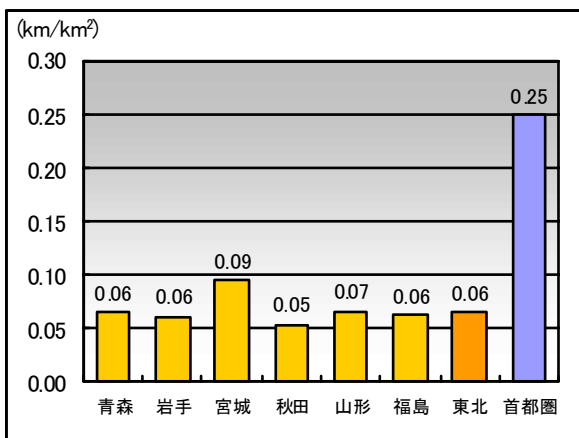
国道118号(大平橋) 床版補強対策状況

※ _____ は、第2回懇談会で各委員から発言のあった意見を反映したもの。

(2) 地域連携・地域生活を支えるふくしまの道づくり

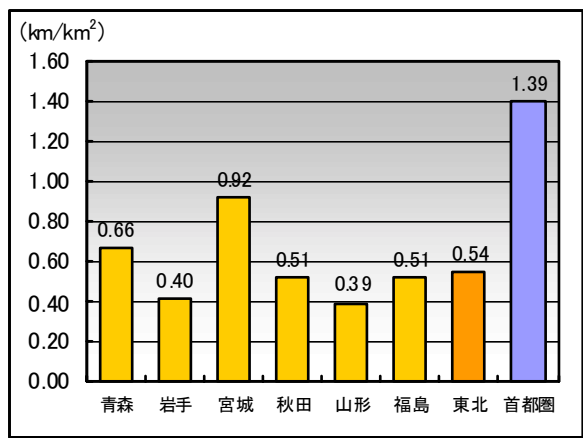
- ① 地域連携を支援する一般国道、主要地方道等幹線道路網の整備
- ② 自動車交通不能区間の解消
- ③ 地域生活を支える幹線道路網、地域道路網の整備
- ④ 地域プロジェクトを支援する道路の整備
- ⑤ 地域振興を図るための「道の駅」の整備
- ⑥ 地域特性や交通特性など地域の実情に見合った道路の整備

- 公共交通機関の発達していない本県においては、自動車への依存度が全国に比べ高い状況にあります。
- しかし、本県の道路の整備状況を見ると、改良率（5.5m未満を含む）が53.1%で全国30位となっております。



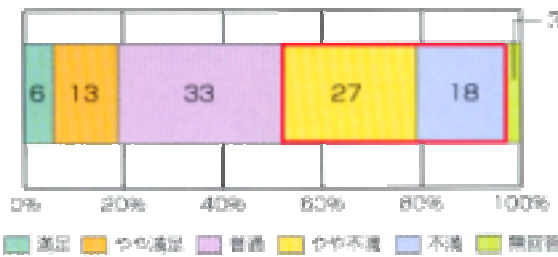
注) 鉄道網密度(km/km²)=営業キロ(km)/面積(km²)
 首都圏：埼玉、千葉、東京、神奈川
 資料：平成12年版地域交通年報

図 鉄道網密度(東北、首都圏)

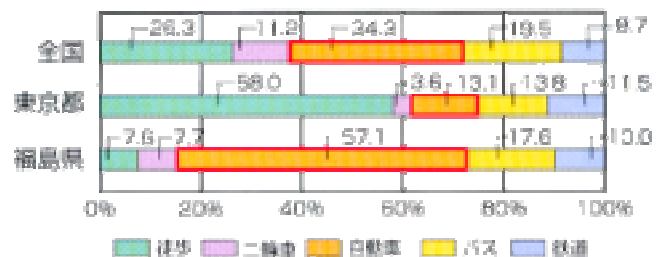


注) バス路線密度(km/km²)=免許キロ(km)/面積(km²)
 首都圏：埼玉、千葉、東京、神奈川
 資料：平成13年版運輸要覧(各運輸局)

図 バス路線密度(東北、首都圏)



(地域政策情報 福島県版 2001 時事通信社より)
 図 バス、鉄道などの公共交通機関の利用しやすさ



(42 国勢調査より)
 図 県別通勤・通学者の利用交通手段

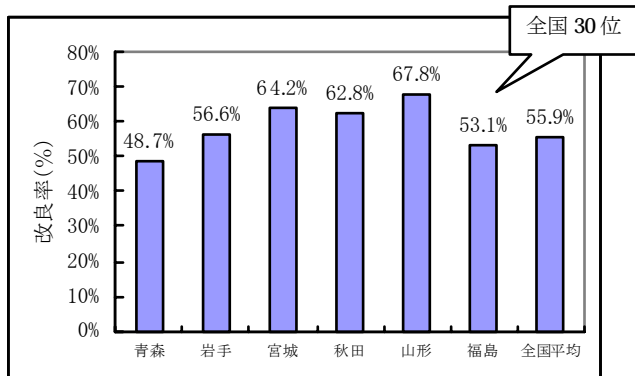
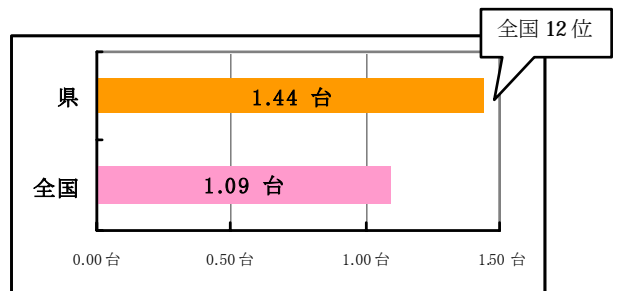


図 道路改良率(5.5m未満を含む)
 資料 道路統計年報 2001 年版

● 1世帯当たり自家用乗用車台数 (H12)



- さらに、本県では、県境・峠越えにおける県管理道路の交通不能区間は、20路線、25箇所（92.2km）存在し、これは、県管理道路延長（5,551.7km）の約2%に相当します。
- このため、地域間連携や近接都市との連携を強化し、都市の利便性を中山間地域においても享受できる生活環境の充実を図るため、自動車交通不能区間の解消など一般国道等幹線道路網の整備を推進します。

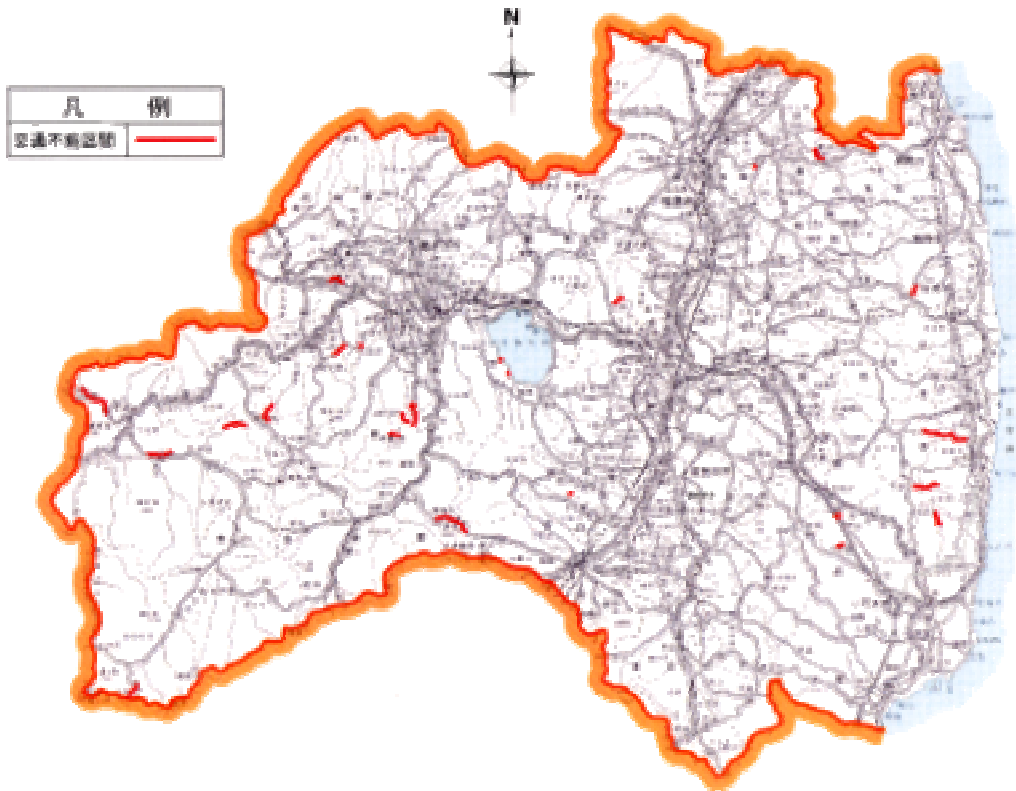


図 交通不能区間



国道289号交通不能区間の状況

● 交通不能路線

（平成13.3月末現在）（単位 km）

道路種別	路線数	箇所数	延長
国道	1	2	17.3
主要地方道	5	6	13.6
一般県道	14	17	61.3
計	20	25	92.2

資料 福島県の道路2001

- 救急業務においては、輸送時間の短縮が生命の安全確保に大きな影響を与えます。
- しかし、本県では、依然として高度な救急医療を担う主な病院に60分で到着できない市町村が約2割も存在します。
- さらに冬期になると、旅行速度の低下、冬期通行不能により60分で到着できない市町村は約3割まで増加します。
- これら、高次救急医療施設のサービス圏の拡大、冬期におけるサービス圏の安定的確保を図るためにも地域生活を支える幹線道路網や地域道路網の整備を推進します。

※高度な救急医療を担う主な病院－福島市（県立医科大学附属病院）、郡山市（太田西ノ内病院）、会津若松市（会津中央病院）、いわき市（磐城共立病院）



図 高度な救急医療を担う主な病院までの60分圏域(H13年度末)

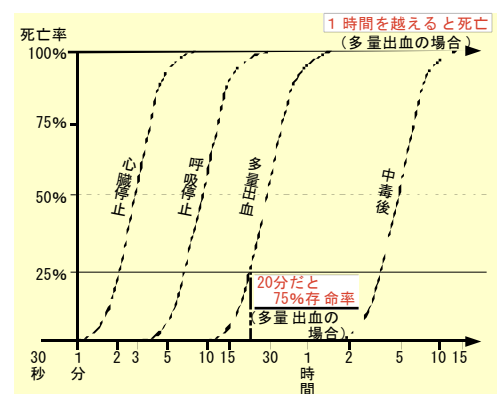
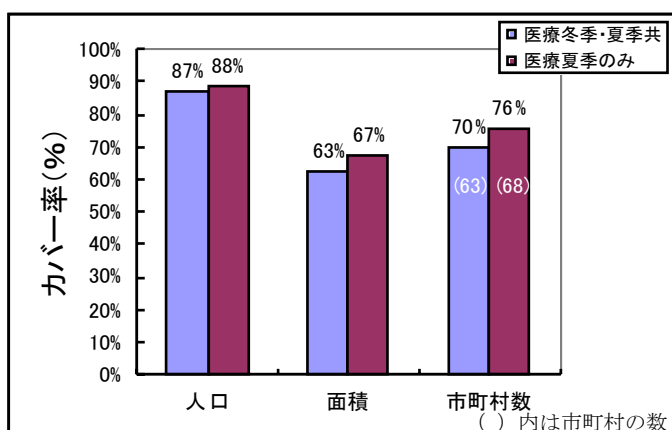
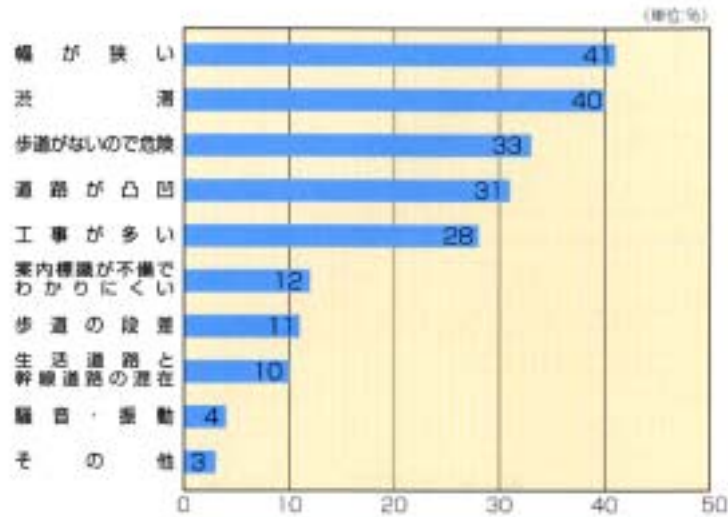


図 緊急事態における経過時間と死亡率の関係(カーラーの曲線)

※_____は、第1回懇談会で各委員から発言のあった意見を反映したもの。

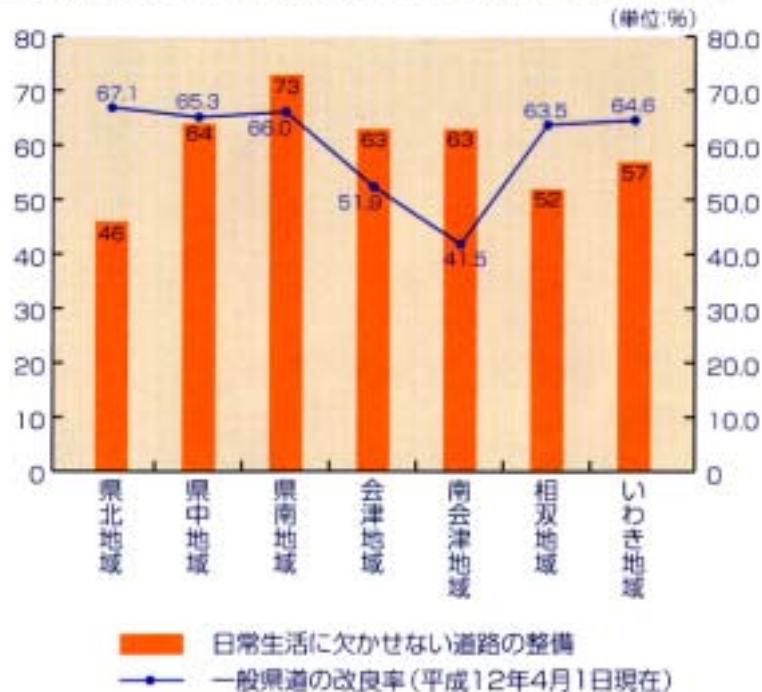
○ 県民に対する意識調査の結果、全ての生活圏で日常生活に欠かせない道路の整備を望む声が高く、さらに、道幅が狭いなど道路の安全性に対する不満も多い状況となっているため、生活に密着した地域生活を支える道路網の整備を推進します。

● 道路を利用して不満なことを聞いてみました。(複数回答)



幅が狭い・渋滞・歩道がないので危険の順に不満が高くなっています。

■ 地域別に見る日常生活に欠かせない道路の整備を望む割合



●他の地域と比べ改良率が高い県中・県南地域も、まだまだ地域住民は望んでいます。

※ _____ は、第1回懇談会で各委員から発言のあった意見を反映したものの。

○ 本県では、地域の新たな発展を図るため、地域の特性を活かした各種プロジェクト等の事業や計画が進められています。

○ このため、広域的な地域整備の計画や各種プロジェクト等を支援するとともに、地域づくりのための広域観光拠点を連携し、リピーターの確保を図るうえでも、地域道路網の整備を推進します。

※各種プロジェクト等－21世紀FIT構想、南東北中枢広域都市圏構想、阿武隈地域総合開発事業等

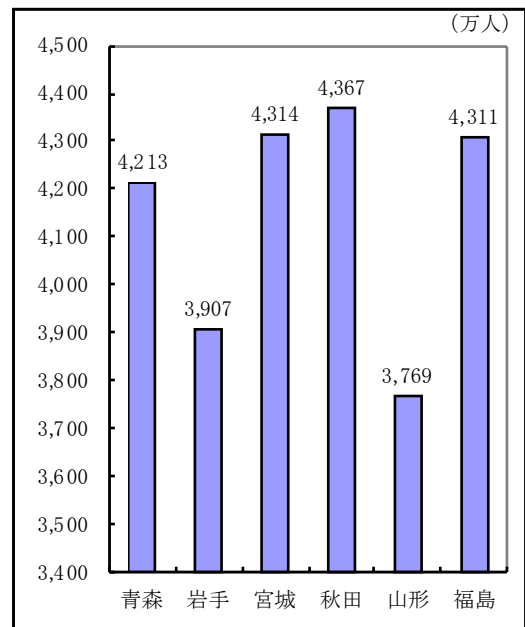
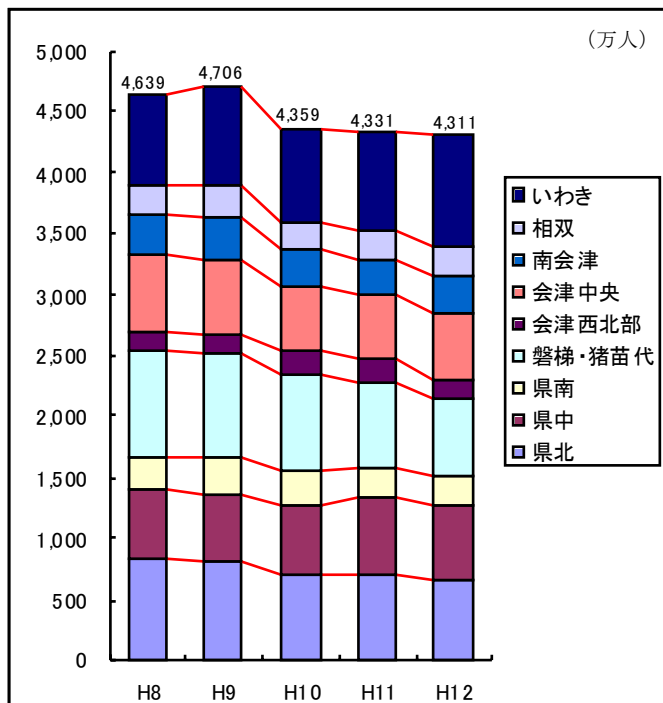


図 東北各県の観光客入込状況(H12)

図 福島県における観光客入込状況の推移

資料 観光交流課

○ 交通事故の減少や地域活性化を図るため、休憩機能、情報交流機能、地域連携機能を備えた施設として幹線道路沿線に設置される「道の駅」の整備を進めます。

※ _____ は、第1回懇談会で各委員から発言のあった意見を反映したもの。